

令和6年度 英語学習実施状況について

金沢市立大徳小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和7年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	42.0	44.0	12.0	2.0	
問2	英語の勉強は大切だ。	72.0	22.0	5.0	0.0	
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	34.0	49.0	15.0	2.0	
問4	英語の授業の内容が分かる。	58.0	38.0	4.0	0.0	
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	27.0	52.0	18.0	3.0	
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	37.0	41.0	17.0	5.0	
問7	アルファベットの大文字が書ける。	85.0	9.0	6.0	0.0	
問8	アルファベットの小文字が書ける。	84.0	13.0	3.0	0.0	
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	81.0	16.0	3.0	0.0	
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	40.0	39.0	18.0	3.0	

②指導改善の具体策

- ・問5・6の結果から、会話に関する抵抗感がやや強いように感じられる。授業の中での発話量や友達と話す時間を確保することで改善を図る。また、教師やALT、グループやペアの友達のサポートを受けながら、「相手に質問ができた」「相手の質問に答えることができた」という達成感を持たせていく。
- ・単語を覚えることに苦手意識を感じている児童もいるため、単元を通して継続的に簡単な語句や基本的な表現の復習を行っていくことで改善を図る。

③学校関係者評価

- ・英語を実用的に使えるようになるためには、会話の経験を積み重ねることが必須なので、授業の中での発話する時間を増やした方がよい。
- ・読み書きよりも話すことに対して苦手意識を持っているので、間違ってもよいから話してみようという気持ち(トライアンドエラー)を育ててほしい。AI相手に会話をできるアプリがあるので、そういったものをうまく活用できればよいのではないかな。
- ・短い文章でもよいので、スピーチを通して人前で話す経験を積ませることで、話すことに対する苦手意識を解消できるとよい。
- ・単語を覚えることに苦手意識を感じている児童への手立てとして、語幹を意識した指導をしてはどうか。